

令和 4 年 7 月 2 1 日

千倉地区の中学校再編

1 千倉地区学校再編検討委員会としての結論

市の再編計画のとおり「千倉中学校と白浜中学校を統合する」ことを決定する。

2 白浜中学校との統合の理由

ア 生徒数や学級数を見ると、千倉中学校は令和 4 年度で、各学年が 2 クラス編制であり、生徒数も 2 0 0 人を割り込み、その後も生徒数の減少が見込まれる。

しかし、中学校を統合することにより、生徒数が 2 0 0 人台となり、令和 5 年度～令和 7 年度は、3 クラス編制が可能な学年ができる。

イ 生徒が集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通して一人一人の資質や能力を伸ばしていくためには、中学校の統合により、生徒数を確保することが望ましいと考える。

ウ 学級数が少ないと、配置される教員も少なくなり、教育活動に制約が生じつつあるが、統合することによって教員の配置数を確保でき、より良い教育環境を提供できるようになる。

エ 統合することによって充実した部活動が実施できる。

オ 統合中学校の校舎を、それぞれの現在の中学校のどちらかを使用した場合、千倉・白浜両地区の遠方からでもスクールバスで 3 0 分程度の通学が可能である。

3 学校の再編時期、学校の位置、学校の名称について

基本的合意事項である、学校の再編時期、学校の位置、学校の名称に関する事項については、千倉地区学校再編検討委員会で千倉中学校と白浜中学校を統合する方針決定がされた後、白浜地区及び千倉地区学校再編検討委員会合同会議で協議・検討する。